

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月14日

【四半期会計期間】 第16期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 株式会社エルアイイーエイチ

【英訳名】 Life Intelligent Enterprise Holdings Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 福村 康廣

【本店の所在の場所】 東京都江東区南砂二丁目36番11号

【電話番号】 03(6458)6913(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 田中 斉

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区南砂二丁目36番11号

【電話番号】 03(6458)6913(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 田中 斉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第3四半期 連結累計期間	第16期 第3四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	11,662,968	11,779,073	15,465,051
経常利益又は経常損失() (千円)	138,705	175,188	168,811
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純損失() (千円)	405,672	402,781	380,197
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	708,896	580,344	526,707
純資産額 (千円)	3,917,205	3,432,053	4,099,394
総資産額 (千円)	6,683,538	6,070,228	6,967,380
1株当たり四半期(当期)純損 失() (円)	4.66	4.63	4.37
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	58.6	56.5	58.8

回次	第15期 第3四半期 連結会計期間	第16期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	1.58	1.57

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、第15期第3四半期、第16期第3四半期及び第15期については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社について異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、生産や輸出に足踏み感はあるものの、政府の経済政策により企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調にて推移いたしました。米中貿易摩擦をはじめとする通商問題と中国の経済成長鈍化、英国のEU離脱問題の影響など、海外経済動向の不確実性の高まりや消費税増税による国内の消費マインド低下などから、先行き不透明な状況となりました。

このような状況の中、当社におきましては、成長性と安定性を重視した事業ポートフォリオの構築を念頭に、注力する得意分野においてマーケティング力を強化して優位性ある商品開発と新サービスの提供等を行えるよう継続的に取り組んで参りました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高11,779百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失190百万円（前年同期 営業利益127百万円）、経常損失175百万円（前年同期 経常利益138百万円）となりました。

また、教育関連事業において、減損損失184百万円を特別損失に計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損失は402百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失405百万円）となりました。

当社グループ企業のセグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(食品流通事業)

当事業におきましては、前期において行った主要6店舗の改修工事によって生じた減価償却費が増加したものの、新たに実施した酒類における価格訴求キャンペーンによる新規来店顧客の獲得に成功し、また、クレジットカード決済の導入による売上増加の効果も重なり、売上、利益共に好調に推移いたしました。

その結果、売上高7,808百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益（営業利益）435百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

(酒類製造事業)

当事業におきましては、国内市場はRTDを除いて清酒、焼酎、ビール全酒目共軒並み前年割れと言われる厳しい業界環境の下、当社におきましてはその例外にはなりえなかったものの、昨年度行いました清酒類等不採算製品の整理、終売による減収の影響もここへきてようやく落ち着き、売上こそ前年同期を下回ったものの、利益は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高1,666百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント利益（営業利益）121百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

(教育関連事業)

当事業におきましては、少子化によるライバル会社との競争激化、更には増加しつつある中高一貫校におけるテスト関連ニーズが、高校大学受験の双方を扱う大手テスト業者に向うと言った市場の変化もあり、総じて厳しい環境が続いており、中学校向けの教材部門におきまして、当年度は次回教科書改訂までの狭間にあることから大きく形勢を変え得る有効な戦略は打ち出し難い状態にあります。

また、高騰した商品原価の計上や新たな商品の製作コストが見込みよりもはるかに上回ったことなど及び投資額と投資期間全体を通じた回収可能額について比較検討した結果、原価性のある制作費の償却を行ったことなどが影響し、売上、利益共に前年を下回りました。

その結果、売上高1,410百万円（前年同期比15.2%減）、セグメント損失（営業損失）468百万円（前年同期 セグメント損失（営業損失）4百万円）となりました。

人件費の抑制や、これまで外注に出していた業務の一部を内製化にシフトすることでコストの削減につながっており、引き続き収益構造の改善に努めてまいります。

(リフォーム関連事業)

当事業におきましては、リフォーム市場の回復と消費税増税を意識した活発な駆け込み需要が重なり、選別を行うに十分な時間的余裕もないまま対応能力一杯の受注状況となるに至りました。

その結果、売上高513百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益（営業利益）2百万円（前年同期比83.0%減）となりました。

(その他)

当事業におきましては、その他教育関連事業等を行っており、売上高380百万円（前年同期比3.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）25百万円（前年同期比154.3%増）となりました。

当社グループの財政状態につきましては、当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ897百万円減少いたしました。

これは主として、現金及び預金について270百万円、商品及び製品について135百万円、仕掛品について333百万円、投資有価証券について256百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円減少いたしました。

これは主として、支払手形及び買掛金について107百万円、長期借入金について149百万円、繰延税金負債について62百万円それぞれ減少したこと及び負ののれんが71百万円増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,432百万円となり、前連結会計年度末に比べ667百万円減少いたしました。

これは主として、資本剰余金を原資とする配当実施で86百万円、その他有価証券評価差額金が177百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失で402百万円それぞれ減少したことなどによります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

該当事項はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	87,000,000	87,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	87,000,000	87,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年12月1日 (注)		87,000,000	1,900,000	100,000		45,363

(注) 減資による減少であります。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 86,984,700	869,847	同上
単元未満株式	普通株式 7,300		同上
発行済株式総数	87,000,000		同上
総株主の議決権		869,847	

- (注) 1 上記「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式16株が含まれております。
2 「完全議決権株式(その他)」欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式300株が含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社エルアイイーエイチ	東京都江東区南砂二丁目 36番11号	8,000		8,000	0.00
計		8,000		8,000	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、KDA監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,009,724	1,738,847
預け金	822	822
受取手形及び売掛金	921,800	1,251,138
有価証券	1,054	954
商品及び製品	1,149,106	1,013,275
仕掛品	422,959	89,769
原材料及び貯蔵品	130,735	128,319
未収入金	51,331	48,104
その他	116,943	61,279
貸倒引当金	162	162
流動資産合計	4,804,315	4,332,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	334,784	312,967
その他(純額)	383,607	311,049
有形固定資産合計	718,391	624,017
無形固定資産		
	32,555	10,593
投資その他の資産		
投資有価証券	970,860	713,919
敷金	210,060	203,867
出資金及び保証金	178,179	174,169
長期貸付金	2,563	2,563
破産更生債権等	19,846	19,477
繰延税金資産	24,754	14,586
その他	82,065	50,528
貸倒引当金	76,213	75,843
投資その他の資産合計	1,412,118	1,103,267
固定資産合計	2,163,065	1,737,879
資産合計	6,967,380	6,070,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,223,289	1,116,178
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	241,000	241,000
1年内返済予定の長期借入金	197,166	126,696
未払金	224,290	194,662
リース債務	1,809	1,439
未払法人税等	10,178	6,318
未払消費税等	26,903	71,985
未払費用	182,011	219,899
賞与引当金	23,373	1,607
返品調整引当金	6,782	1,901
その他	37,126	51,912
流動負債合計	2,213,931	2,073,602
固定負債		
社債	100,000	80,000
長期借入金	348,036	268,532
リース債務	5,382	5,379
繰延税金負債	111,580	49,480
退職給付に係る負債	32,140	32,396
資産除去債務	45,110	45,422
負ののれん	5,157	76,715
その他	6,647	6,647
固定負債合計	654,055	564,573
負債合計	2,867,986	2,638,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	100,000
資本剰余金	1,940,972	3,261,041
利益剰余金	352,477	262,319
自己株式	858	862
株主資本合計	3,587,636	3,097,859
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	511,757	334,194
その他の包括利益累計額合計	511,757	334,194
純資産合計	4,099,394	3,432,053
負債純資産合計	6,967,380	6,070,228

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	11,662,968	11,779,073
売上原価	8,916,310	9,572,556
売上総利益	2,746,657	2,206,517
販売費及び一般管理費	2,618,772	2,397,150
営業利益又は営業損失()	127,884	190,632
営業外収益		
受取利息	122	92
受取配当金	286	299
受取賃貸料	20,115	20,760
負ののれん償却額	9,730	9,730
貸倒引当金戻入額	90	80
その他	15,356	14,842
営業外収益合計	45,700	45,804
営業外費用		
支払利息	7,037	4,664
不動産賃貸費用	18,000	18,000
その他	9,842	7,696
営業外費用合計	34,880	30,360
経常利益又は経常損失()	138,705	175,188
特別利益		
固定資産売却益	1,131	-
関係会社株式売却益	35,588	-
特別利益合計	36,719	-
特別損失		
固定資産除却損	69	-
減損損失	546,473	184,606
その他	1,062	8,194
特別損失合計	547,605	192,800
税金等調整前四半期純損失()	372,179	367,989
法人税等	33,492	34,792
四半期純損失()	405,672	402,781
親会社株主に帰属する四半期純損失()	405,672	402,781

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失()	405,672	402,781
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	303,224	177,563
その他の包括利益合計	303,224	177,563
四半期包括利益	708,896	580,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708,896	580,344

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	4,264千円	3,278千円
支払手形	43,088千円	31,605千円

偶発債務

(訴訟の提起)

当社は、原告である須田正則外10名から、当社子会社である㈱ウィッツが運営しているウィッツ青山学園高等学校で行っていた体験型スクーリング(ユニバーサルスタジオジャパンでのつり銭の計算を「数学」、バスの中での洋画鑑賞を「英語」の履修扱いにすることなど)を実施したことによりスクーリングを再度実施しなけねばならなくなったこと及びそれに伴い新年度募集を停止せざるを得なくなったことなどは、㈱ウィッツの親会社である当社の内部統制システム構築義務違反、任務懈怠及び不法行為であるとして損害賠償を主張しており、当社に対して訴訟を提起されております(損害賠償額 5億124万円)。

なお、当社が提起されている訴訟に関連して、当社子会社である㈱ウィッツを原告とし須田正則外10名に対する反訴の提起をしております(請求金額 2億8,410万円)。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る、四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	87,653千円	95,124千円
のれんの償却額	33,359	5,986千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	173,984	2.0	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金
2018年11月13日 取締役会	普通株式	86,992	1.0	2018年9月30日	2018年12月5日	資本剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

(1) 資本剰余金の配当

当第3四半期連結累計期間における資本剰余金の配当については、「1. 配当金支払額」に記載しております。

(2) 減資

当社は、2018年9月7日付で減資いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本金が2,000,000千円減少し、資本剰余金が2,000,000千円増加いたしました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が2,000,000千円、資本剰余金が1,940,972千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	86,991	1.0	2019年3月31日	2019年6月26日	資本剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

(1) 資本剰余金の配当

当第3四半期連結累計期間における資本剰余金の配当については、「1. 配当金支払額」に記載しております。

(2) 欠損填補

当社は、2019年6月25日開催の定時株主総会の決議により、同日付でその他資本剰余金を492,939千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

(3) 減資

当社は、2019年12月1日付で減資いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、資本金が1,900,000千円減少し、資本剰余金が1,900,000千円増加いたしました。

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、資本剰余金が3,261,041千円、利益剰余金が262,319千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	食品流通 事業	酒類製造 事業	教育関連 事業	リフォーム 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,252,579	1,861,431	1,663,556	518,930	11,296,498	366,469	11,662,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高		7,650	4,705		12,355	22,842	35,198
計	7,252,579	1,869,081	1,668,261	518,930	11,308,853	389,312	11,698,166
セグメント利益又は 損失()	352,627	83,860	4,400	12,857	444,945	9,942	454,888

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他教育関連事業等及び損害保険代理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	444,945
「その他」の区分の利益	9,942
セグメント間取引消去	17,921
全社費用(注)	309,082
四半期連結損益計算書の営業利益	127,884

(注) 当社の総務部門・経理部門等にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

酒類製造事業において、経営環境の悪化に伴い固定資産の減損処理を行い、減損損失を計上しております。
当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては224,632千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

酒類製造事業において、経営環境の悪化に伴いのれんの減損処理を行い、減損損失を計上しております。
当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては321,841千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	食品流通 事業	酒類製造 事業	教育関連 事業	リフォーム 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,808,100	1,666,661	1,410,041	513,430	11,398,234	380,839	11,779,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	8,567	29,201		37,831	26,090	63,921
計	7,808,162	1,675,229	1,439,243	513,430	11,436,065	406,929	11,842,995
セグメント利益又は 損失()	435,527	121,722	468,727	2,184	90,706	25,286	115,993

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他教育関連事業等及び損害保険代理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	90,706
「その他」の区分の利益	25,286
セグメント間取引消去	17,278
全社費用(注)	289,348
四半期連結損益計算書の営業損失()	190,632

(注) 当社の総務部門・経理部門等にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

教育関連事業において、経営環境の悪化に伴い固定資産の減損処理を行い、減損損失を計上しております。
当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては119,034千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

教育関連事業において、経営環境の悪化に伴いのれんの減損処理を行い、減損損失を計上しております。
当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては65,571千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純損失()	4円66銭	4円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	405,672	402,781
普通株主に帰属しない金額(千円)		
親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	405,672	402,781
普通株式の期中平均株式数(千株)	86,992	86,991

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月14日

株式会社エルアイイーエイチ
取締役会 御中

K D A 監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 関 本 享

指定社員
業務執行社員 公認会計士 園 田 光 基

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エルアイイーエイチの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エルアイイーエイチ及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。